

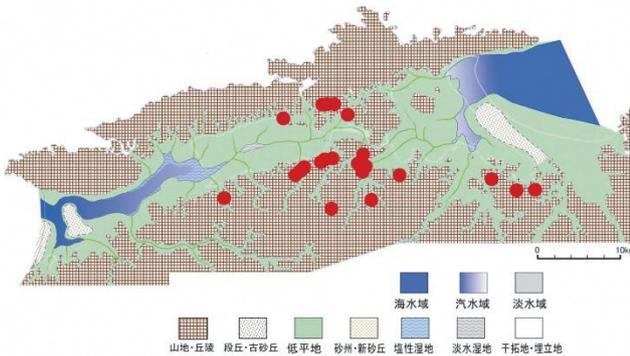
## 縄文～弥生時代の景観と遺跡

会下和宏 (島根大学総合博物館)

### ◆トピック I 古地形変遷と遺跡の分布

※古地形復元図は、高安克己 2019 (刊行予定)『松江市史・史料編 1 (自然環境)』 から引用

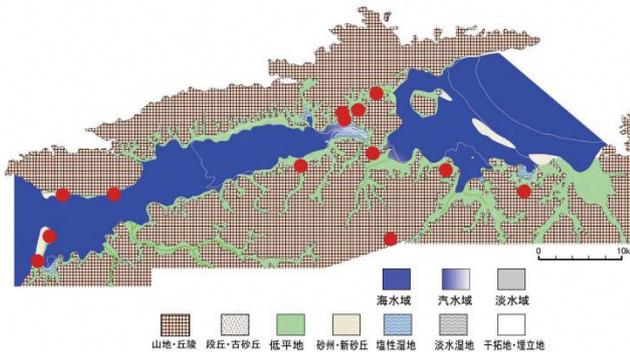
#### (1) 後期旧石器～縄文草創期：約 35,000 年前～BC9,600



**古地形** 約 11700 年前以降、完新世 (後氷期) にはいり、温暖化によって海面が上昇・・・古宍道川・古中海川 (仮称) に海水が流入

**遺跡分布** 橋南・玉湯町に多い。瑪瑙 (玉髓) 産出地に近い。現在の宍道湖内にも存在していた可能性。

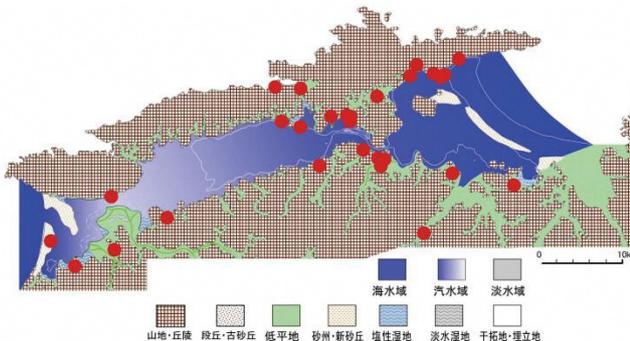
#### (2) 縄文早期：約 BC9,500～BC5,000



**古地形** 完新世 (後氷期) の温暖化によって海面が上昇・・・古宍道湾・古中海湾の形成

**遺跡分布** 各地域に分散的に立地。古宍道湾・古中海湾周辺にも点在。

#### (3) 縄文前期：約 BC5,000～BC3,500



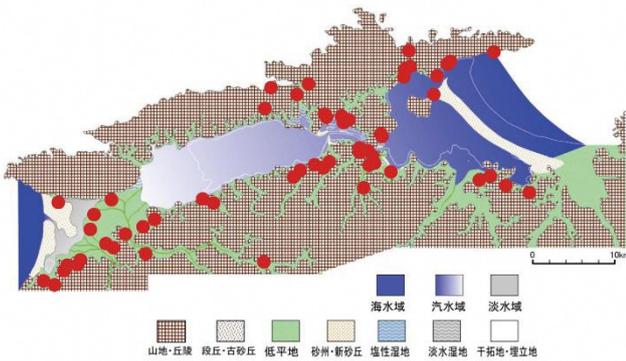
**古地形** 相対的な海面上昇がほぼピークに達し、ほぼ停滞・・・斐伊川・神戸川による堆積活動。砂州の形成・・・古宍道湖・古中海の形成

**遺跡分布** 宍道湖東岸・中海南西岸・中海北岸などで遺跡増加。島根半島日本海側は希薄・・・冬季の北西季節風を回避

#### (4) 縄文中期：約 BC3,500～BC2,500

**遺跡分布** 島根半島日本海側にも散見。北浦松ノ木遺跡 (松江市美保関町)、臼畑遺跡 (松江市鹿島町)、猪目洞窟 (出雲市猪目町) など

(5) 縄文後期: 約 BC2, 500~BC1, 300



**古地形** 斐伊川・神戸川による堆積活動によって出雲平野が発達。斐伊川デルタが島根半島側に到達。「神門水海」が一時的に淡水化。

**遺跡分布** 各地で遺跡増加。出雲平野中央部に遺跡出現。

(6) 縄文晩期: 約 BC1, 300~BC400?

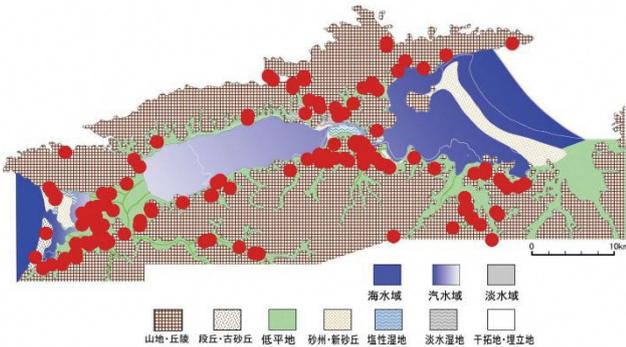
**遺跡分布** 特に松江橋南地区で遺跡増加。

(7) 弥生前期: 約 BC400?~BC2 世紀頃

**遺跡分布** 特に出雲平野中央部で遺跡増加。

(8) 弥生中期: BC2 世紀~BC1 世紀頃

**遺跡分布** 特に伯太川流域で遺跡増加。



(9) 弥生後期: AD1~3 世紀前半頃

**遺跡分布** 各地で遺跡増加・・・人口増加。大小の平野ごとに地域的なまとまり形成。特に松江市八雲町、飯梨川左岸で遺跡増加。

◆トピックⅡ 縄文海進・海退と遺跡の立地

(1) 縄文前期頃(縄文海進期)の島根大学(松江キャンパス)周辺

- ・水深-3m程度の遠浅でシルト底の入り江が入り込む環境。
- ・島根大学構内遺跡・西川津遺跡・佐太講武貝塚・・・山地(照葉樹林)・丘陵(コナラ林など)・汽水域・河川など、多様な環境を包摂する「遷移帯」に立地 → 縄文人の多角的な生業戦略(表1)
- ・西川津遺跡・佐太講武貝塚・・・岩礁域に生息するサザエ・アワビ・イシダイなど出土(表1) → 島根半島日本海側、美保関など、外海もテリトリーに。
- ・丸木舟・櫂・ヤス柄・ヤス・石錘などが出土。

表1 縄文人が食べたもの 縄文前期・前後（報告書をもとに作成）

遺跡名	所在地	時代	哺乳類・鳥類など						海獣 クジラ目	魚類	貝類					
			ニホンシシカ	イノシシ	ニホンザル	アナグマ	イヌ	タヌキ			その他	ヤマトシジミ	サザエ	アワビ	その他	
菱根遺跡	出雲市大社町	早期末～前期初頭	○	○					○	種不明小獣骨・ハクチョウ・カモ・イシカメ	○	タイ・フグ類				
西川津遺跡(海崎地区)	松江市西川津町	早期末～前期初頭	○	○		○	○		○	ウサギ	○	クロダイ属・マダイ・フグ科・スズキ属・エイ類	○			サルボウガイ?
佐太講武貝塚	松江市鹿島町佐陀宮内・名分	早期末～中期	○	○	○		○						○	○	○	ニシ
佐太講武貝塚(1993年度)		前期	○	○	○	○	○	○		ネズミ科の一種			サメ類の一種・アカエイ・イワシの一種・タイ科の一種・クロダイ・イシダイ・コブダイ(カンダイ)・サバ科の一種・ハゼ科の一種・コイ科の一種・コイ・フナ・ナマズ科の一種	○	○	○

## (2) 縄文晩期頃の島根大学（松江キャンパス）周辺

- ・遠浅だった入江は、海面低下、河川の沖積作用、水成層の堆積によって低湿地化。
- ・弥生前期になって水田として利用。

## トピックⅢ 出雲平野の形成と遺跡の立地

### (1) 三瓶山の活動と出雲平野の拡大

- ・第1ハイカ層(三瓶太平山火砕流・降下火山灰)・・・縄文後期中葉(BC2,025～2,145頃(3,600±75yBP))
- ・第2ハイカ層(三瓶角井降下火山灰)・・・縄文前期末(BC3,550～3,650頃(4,780±100yBP))
- ・・・約4000年前の噴火時の火砕流堆積物が神戸川を經由して平野部に供給。出雲平野の拡大。
- ➡ 出雲平野中央部に縄文後期の遺跡(矢野遺跡・壺丁田遺跡)

### (2) 出雲平野の微高地に弥生集落が立地

- ・環濠集落を含む11～13群程度のまとまりの形成

## トピックⅣ 河口域・ラグーンと遺跡の立地～地域間交流の活発化と港の重要性～

### (1) 地域間交流の活発化

- ・本土と隠岐島の水運・・・隠岐島産黒曜石の流通(縄文～弥生時代)
- ・沿岸部と中国山地との交流・・・弥生中期後葉「塩町式土器」の分布
- ・日本海交流の活発化 ➡ 港の重要性・・・鉄器の流通(特に弥生中期後葉以降)。弥生後期は時期ごとに倍増(「魏志韓伝」弁辰の条・・・「国は鉄を出す。韓・濊・倭は皆従い之を取る。」 ➡ 朝鮮半島南東部

から鉄を運ぶ。) / 朝鮮半島・中国大陸からの搬入品の出土 (表 2)。

**表 2 出雲地域における朝鮮半島・中国大陸からの搬入品やその影響を受けた文物 (弥生時代中期～後期頃)**

遺跡名	所在地	出土品
田和山遺跡	松江市乃白町	楽浪郡由来の可能性のある硯
タテチョウ遺跡	松江市西川津町	瓦質土器
南講武草田遺跡	松江市鹿島町	瓦質土器
松江市鹿島町沖		楽浪土器
森屋敷遺跡	松江市宍道町	瓦質土器
古志本郷遺跡 K 区	出雲市古志町	瓦質土器
古志本郷遺跡 K 区	出雲市古志町	漢式三稜鏃
白枝荒神遺跡	出雲市白枝町	内行花文鏡片
矢野遺跡	出雲市矢野町	靱島式土器
山持遺跡 3 区	出雲市西林木町	靱島式土器
山持遺跡 6 区	出雲市西林木町	楽浪土器・瓦質土器
山持遺跡 7 区	出雲市西林木町	三稜鏃形木製品
中野清水遺跡	出雲市中野町	鑄造鉄斧・貨泉
姫原西遺跡	出雲市姫原町	弩形木製品・三稜鏃形木製品、塵尾の可能性のある団扇形木製品、陰陽思想を思わせる月と太陽の意匠の響穴をもつ琴板
天神遺跡	出雲市天神町	蓋笠骨の可能性のある四分枝木製品

## トピック V 眺望と遺跡の立地

- ・山と墳墓・・・朝日山と堀部第 1 遺跡 (松江市鹿島町)、仏経山と西谷墳墓群 (出雲市大津町)
- ・山と青銅器埋納・・・仏経山と荒神谷遺跡 (出雲市斐川町)
- ・田和山遺跡 (松江市乃白町) と茶臼山

### ◆まとめ ～なぜそこに遺跡が立地するか？

#### (1) 生業との関係

- ・狩猟採集を生業の基本とした旧石器時代～縄文時代は、資源を獲得するうえで有利な場所に生活。
- ・水稻耕作を基本とした弥生時代は、低湿地に隣接した微高地や丘陵斜面などに定住。

#### (2) 流通活動との関係

- ・人口が増加し、モノの流通量が増大すると、河川河口部・ラグーンなどが天然の良港として重要に。

#### (3) 眺望との関係

- ・山を望む場所に墳墓や祭祀に関わる遺跡が立地。・・・山に対する信仰 (穀霊・水霊・祖霊など) か。

## 主な参考文献

- 石田爲成 2013 「山陰地方における塩町甕の分布について」『立命館大学考古学論集』VI
- 内田律雄・高安克己ほか 1987 『朝酌川河川改修工事に伴う西川津遺跡発掘調査報告書（海崎地区1）3』島根県土木部  
河川課・島根県教育委員会
- 内田律夫・松山智弘ほか 2007 『山持遺跡 Vol.3（IV区）』島根県教育委員会
- 会下和宏・中村唯史ほか 1997 『島根大学構内遺跡第1次調査（橋縄手地区1）』島根大学埋蔵文化財調査研究センター
- 会下和宏・中村唯史ほか 1998 『島根大学構内遺跡第3次調査（深町地区1）』島根大学埋蔵文化財調査研究センター
- 会下和宏・中村唯史ほか 1999 『島根大学構内遺跡第2・4・8次調査（諸田地区1・2・3）』島根大学埋蔵文化財調査  
研究センター
- 酒詰仲男・石部正志 1959 「島根県菱根遺跡発掘報告」『同志社大学人文科学研究所紀要』第2号
- 高安克己・山田康弘・松本岩雄ほか 2015 『松江市史・通史編1（自然環境・原始・古代）』松江市
- 高安克己 2019（刊行予定）『松江市史・史料編1（自然環境）』松江市
- 竹広文明・赤沢秀則・内山純蔵 1994 『佐太講武貝塚発掘調査報告書2』鹿島町教育委員会
- 徳永桃代・渡辺正巳ほか 2016 『森屋敷遺跡 宍道複合施設進入路整備事業に伴う埋蔵文化財調査報告書』松江市文化財  
調査報告書第176集 島根県松江市教育委員会・松江市スポーツ文化振興財団
- 中村唯史・渡辺正巳 2000 「三田谷 I 遺跡の地下層序と形発達史」『三田谷 I 遺跡（vol.2）斐伊川放水路建設予定地内埋  
蔵文化財発掘調査報告書 VIII』島根県教育委員会ほか
- 松尾充晶 2015 「古代の祭祀空間—『出雲国風土記』にみる地域社会の神と社』『史林』98-1